

平成 18 年度 収 支 予 算

(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

収支予算の編成に当たって

収支予算書

社団法人 全国大学体育連合

収 支 予 算 の 編 成 に 当 た っ て

平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで

平成 18 年度の会計基準変更のため、新会計基準に準拠した予算案の作成に務めた。当期は事業収入が機関紙への広告収入のみとなるため、特別会計予算を組まない予算編成となった。当期収支の均衡を原則とするが、経常的な事業以外の時限的な事業については、前期からの繰越金で対応することとした。前期との変更点等の要点は以下の通りである。

事業活動収支の部

1. 事業活動収入について

基本財産運用収入

基本財産引当預金（1,500 万円）の前期精算時点での運用実績を踏まえ、4,500 円を見積もった。

入会金収入

前期実績も踏まえ、個人 15 を見積もり、150,000 円を計上した。

年度会費収入

正会員会費収入を前期清算時点での納入状況と、前期における退会の届け出並びに入会見込みとの関係から、22,450,000 円を見積り、賛助会費収入は前期の実績を踏まえ、賛助会員 6、300,000 円を見積もり計 22,750,000 円を計上した。

事業収入

教材ビデオ販売、刊行物等実費頒布を停止した。機関誌等に広告収入事業を行い、広告収入 50,000 円を見積もり計上した。

雑収入

受取利息収入は普通預金、定期預金の前期清算時点の実績を踏まえ、4,200 円を見積もった。

他会計からの繰越金収入

当期から教材ビデの販売停止、刊行物等実費頒布の停止による収益事業の撤退により、特別会計を組む必要がなく繰越金収入は 0 円となった。

事業活動収入合計

以上の結果、事業活動収入合計は 22,958,700 円となり、前期に比して 1,142,244 円の減となっている。

2. 事業費支出について

事業費支出

1) 一般運営費支出

機関誌「大学体育」発行費支出は、印刷等にかかる経費を削減することで前期より 380,000 円減額し、1,500,000 円を計上した。

論文誌「大学体育学」発行費支出は前期の実績を踏まえ 520,000 円に減額して計上することとした。

「会員増強費支出」は新規会員加入促進の観点から当期は前期に引き続き同額の 360,000 円を計上した。この科目にはポスター印刷費、郵送費等が含まれる。

「FD 評価関係費支出」は記念品代が前期より安く抑えることができ、当期は 180,000 円を減額し 347,100 円を計上した。

「シンポジウム開催費支出」は日本体育学会企画委員会との共催することで、前期と同額の 500,000 円を計上した。

「教材フィルム作製費支出」は教材ビデオ販売停止を踏まえ、教材フィルム作製を中止し 0 円とした。

「体育指導教材作成費支出」は 368,400 円に減額して計上した。この科目には教材作成に係わる会議費、旅費交通費、消耗品費、取材のための交通費、謝金等が含まれる。

「ホームページ関係費支出」はバナー広告の掲載等の経費 100,000 円を増額し、280,400 円を計上した。

「会議費支出」は精算時点の実績を踏まえて、319,200 円を増額して計上した。

「旅費交通費支出」は精算時点の実績を踏まえて、769,200 円を増額して計上した。

「給料手当支出」は前期「事業運営関係雑給費」に代わるもので、当期からは大体運営にかかわる事務職員給与の 1/2 の 1,960,000 円を計上することとした。

「図書費支出」は教材推薦図書事業に係わる経費であり、当期は 20,000 円に減額して計上した。

「図書刊行費支出」、「表彰関係費支出」、「印刷製本費支出」は前期の実績を踏まえて、前期と同額を計上した。

「通信運搬費支出」、「消耗品費支出」、「雑支出」は前期の実績を踏まえて減額して計上した。

2) 研修事業費支出

「研修会補助金支出」は当期は 3 泊の中央研修会となるため、1,485,000 円を増額して計上した。

「研修会調査準備費支出」は中央研修会主管支部にその調査準備に補助するものであり（前年度 80,000 円、当該年度 150,000 円）前期と同額を計上した。

「印刷製本費支出」は中央研修会に係わるポスターや資料の印刷関係費であるが、これも前期と同額を計上した。

「研修会企画調整費支出」は中央研修会への本部役員派遣を 4 名としたため、

160,000 円減額し、312,000 円を計上した。

「支援補助金支出」は前期の実績を踏まえて、前期と同額を計上した。

3) 研究調査費支出

「研究助成費支出」「図書費支出」「検討会議費支出」「旅費交通費支出」「通信運搬費支出」「研究調査雑給費支出」「消耗品費支出」は前期と同額を計上した。

「印刷製本費支出」は前期に比して増額して計上した。

4) 国際交流費支出

「国際会議費支出」は ICHPER・SD 年会費に係わる費用で前期と同額を計上した。

「海外研修費支出」は ICHPER・SD 派遣に係わる費用で当期は 250,000 円を計上した。

管理費支出

「総会・理事会費支出」を除き、前期清算時点での実績を踏まえて、各小勘定科目に予算額を計上した。

「給料手当支出」は前期「人件費」に代わるもので、当期からは大体連運営にかかわる事務職員給与の 1/2 の経費及び監査の経費の 2,040,000 円を計上することとした。

「顧問報酬費支出」は前期と同額の 630,000 円を計上した。

「会議費支出」は支部長会の都内での開催、来期の役員改正のための推薦委員会の開催等により、325,150 円に増額して計上した。

「旅費交通費支出」は支部長会の都内での開催、推薦委員会の開催で予算を計上したが、中央研修会への総務部役員の派遣をしないこと等により、トータルで 11 万円余を減額し 462,600 円を計上した。

「賃貸費支出」は事務所更新手数料が平成 19 年度になるために 110,000 円を減額し、1,440,000 円を計上した。

「備品費支出」は前期清算時点での実績を踏まえて、前期と同額の 40,000 円を計上した。

「総会・理事会費支出」は、前期の実績をもとに、840,000 円を計上した。この小勘定科目には、総会・理事会に係わる会議費、印刷製本費、旅費交通費、講師謝礼、懇談会費等が含まれる。

他会計からの繰越金収入

当期から教材ビデの販売停止、刊行物等実費頒布の停止し事業収入が 0 となった。従って、特別会計を組まない予算編成となり繰越金収入は 0 となった。

以上の結果、当期の事業活動収入の合計は 22,958,700 円となり、前期に比して 1,142,244 円の減となっている。事業活動支出の合計は 23,142,250 円となり前期に比して 1,562,694 円の減となっている。

投資活動収支の部

投資活動収支の部は新会計基準に準拠して新たに設けた項目である。当期は新会計基準に対応した会計ソフトウェアを取得するために 300,000 円をその他固定資産取得支出に計上した。

予備費支出

当期は 12,986,450 円を計上した。前期に比して 690,450 円の増となっている。

前期繰越金収支差額

前期清算時点の見込み額である 13,470,000 円を計上した。

当期の収支

1) 事業費支出と管理費支出の比率

予備費除いた当期支出合計の 23,142,250 円に対して、事業費支出の 16,272,500 円は 70%、管理費支出の 6,869,750 円は 30%となっている。

2) 当期収支の差

当期の事業活動収入合計は 22,958,700 円、予備費を除く当期の事業活動支出合計は 23,142,250 円であり、差引 183,550 円の支出超となった。

本連合の安定運営のためには、年度会費の納入時期と第 1 四半期の事業遂行との関係から、約 7,000,000 円の繰越額が確保される必要がある。

以 上

